

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大浜高層建替住宅	階数	地上11F
建設地	大阪府堺市堺区大浜南町3丁1番43	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	169人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2022年2月10日
敷地面積	2,083㎡	作成者	都市環境設計 大久保 誠悟
建築面積	437㎡	確認日	2022年2月10日
延床面積	3,677㎡	確認者	大久保 誠悟



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 計画地は暮らしと生産の場が共存する景観として、下記3つのコンセプトに基づきまちなみの景観形成の寄与に努めるものとする。 洗練・統一された都市的印象を創出するとともに、周辺との調和を図る。 多様な人々のにぎわい・交流を育む明るいイメージのデザインを採用する。 	特にありません。
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 内装にはF☆☆☆☆を使用し、ホルムアルデヒド対応を行います。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 設備配管関係は耐用年数の長い材料を選定し、更新に配慮します。
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 外構の緑化率を15%以上とします。 	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 共用部にLED照明器具を採用します。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水型機器を使用し、水資源の保護に努めます。 再生クラッシュラン又は再生砕石を使用します。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境及び周辺環境に配慮した計画とします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大浜高層建替住宅		BEE	BEEランク B+
	建設地	大阪府堺市堺区大浜南町3丁1番43号		1.3	
	主用途/延床面積	集合住宅	3,676.83 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	3	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	2.0		
	温熱環境悪化の改善	2.0		
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.0	3	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		2.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	